

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 5年 4月 11日
事業名 児童発達支援みつばち

配付数 21 回収数 16 回収率 76%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	13	3				スペースを考慮し、活動の参加人数を制限せざるを得ないことがあり、ご迷惑をおかけしています。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	11	4	1		自分たちには声の掛け方や関わり方の専門知識がないので、いつも参考にさせて頂いています	日々職員同士切磋琢磨したり新しい情報を取り入れながらよりよい支援が提供できるように努力してまいります。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	13	1	1	1		トイレ等は車いす対応になっておりますが入口にスロープが設置できていません。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	16					感染症対策も含めて今後も適切な環境づくりに留意していきます。
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	16					保護者の方とのやり取りを密にし、支援の方向性を出していけるよう今後も努力していきます。
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	11	2		3	ガイドラインはよくわからないが、自分の子どもに合った目標、支援設定がされていると思う	国から示されるガイドラインについて、適宜説明させて頂いていただくようにしていきます。
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	15	1			計画に沿った通り、子どもの成長が見られる	計画倒れにならないように、実行していきます。
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	14	1		1	体を動かしたり工作をしたり、色々なことを活動の中に取り入れていると思う	様々な側面から発達にアプローチできるよう、活動内容を考えていきます。
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	9	2	1	4		併用しているお子さんも多いため取って機会を持つことがありませんでした。コロナをめぐる状況も変化してきているので、今後考えていきたいと思えます。
	⑩	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	15	1			利用前に丁寧に説明して頂きました	今後も分かりやすい説明を心掛けていきます。

保護者への説明等	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	13	1	2	支援計画についてはしっかり説明がありました。いつも頭の中でグルグル考えていることを言語化して下さることで、親の頭の中が整理されるように感じる	ご説明のタイミングが遅れてしまうことがないよう、気を付けていきます。
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	10	2	4		主に土曜日の午後に行っております。予定を早めにお知らせできるよう準備していきます。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	15	1		こちら(保護者)からの情報提供が少ないかもしれません	お話する時間が十分確保できないこともありご迷惑をおかけしています。保護者の方からもぜひ、お声掛けください。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	15	1			半年に1回程度の面談をお願いしておりますが、必要な時には、いつでもお声掛けください。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	9	2	5		令和4年度は保護者交流会を開催することができませんでした。今後、また企画していきたいと思えます。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明せられ、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	14	2		電話でもすぐに相談ののってくださり大変ありがたいです	今後も保護者の方と相談しながら一緒に考えていきたいと思えます。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	15		1	親切に対応して下さり、子どもの特性を理解して接して下さっています	必要に応じ視覚的なものを併用するなど工夫していきます。
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	14		2	写真など子どもの様子の分かるものが増えるとうれしいです	「おひさま通信」「ホームページ」に掲載しています。更にタイムリーな情報の伝達について検討していきます。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	15	1			個人情報については事務室の鍵のかかる書庫で保管しています。
	非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	11	2	3	
㉑		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	10	2	4		事業所内で実施する訓練以外は実施や参加ができていません。地域の方と連携した訓練等も必要と考えますので検討していきます。

満足度	②②	子どもは通所を楽しみにしているか	13	1	1	1	気分には波はあるが、本人が納得して行けている職員も優しく、子どもの得意なことを伸ばしてくれているのでありがたいです	お子さんにとって楽しいことばかりとは限らないと思いますが、何があっても安心して過ごせる場所になるよう一層努力していきます。
	②③	事業所の支援に満足しているか	15	1			子どもの成長も沢山見れていますし、事業所も行きやすく交流も増えていてとても良いです	どのお子さんにとってもどの保護者の方にとっても、ほっとできる場所になれるよう皆さんと一緒に作っていきたいと思います。

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和5年4月11日

事業名 児童発達支援みつばち

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等のスペースとの関係で適切である。	○		活動内容によっては事業所内で協力しながら実施している。	
	②	職員の配置数は適切である。	○			基準配置は満たしているが、多様なニーズに応えるためには、専門職を含め余裕を持った人員配置をめざせると良いと思います。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている。		○	療育室については動線を考慮したり視覚的に掲示したりするなどの工夫をしている。	施設入口の段差等の解消等、必要に応じ町と協議しながら進めていけるとよいと思います。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている。	○		清潔を心掛けている。活動に応じて事業間で協力し工夫している。	感染症予防対策で活動終了後の消毒を徹底。感染対策は緩和されたが、施設内の消毒については今後も継続。
業務改善	⑤	業務改善をすすめるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に広く職員が参画している。	○		職員会議、支援会議等で検討の場を設けている。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている。	○		毎年1～2月に実施している。	ご協力をお願い致します。ご意見を真摯に受け止め業務の改善に努力していきたいと思います。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している。	○		ホームページ等で公表するとともに、保護者説明会等で直接ご報告させていただきます。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。		○		機会を持ってませんでした。今後、実施に向け検討していきます。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している。	○		事例検討や学習会、外部研修の参加等行っている。	
	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している。	○		保護者の方との面接やお子さんの観察、客観的な指標も参考にしながらの作成を心掛けている。	保護者の方にもご協力いただき、家庭等と連携して支援ができるようにしていきます。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している。	○			田中ビネー検査やKIDS、S-M社会生活能力検査等を使っています。

適切な支援の提供

⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている。	○		項目別に記載し、わかりやすく示すことができるよう工夫している。	
⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている。	○		定期的にモニタリングをしながら必要に応じ計画を見なおしながら実践しています。	モニタリングは遅れずに実施出来ているが、個別支援計画が遅れがちになっています。計画的に作成していけるよう努力します。
⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている。	○		週1回時間を作って話し合いを行っています。	お子さん一人一人の特性を踏まえながら得意なことが生かせるような内容を心掛けています。
⑮	活動プログラムが固定化しないように工夫している。	○		職員が交代で考えています。	複数で話し合いをし、同じテーマでも前回の活動内容を踏まえて新たに作り直しています。
⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している。	○		年齢や状況に応じて、個別療育と集団療育、親子療育等を組み合わせて行っています。	
⑰	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している。	○		毎朝、朝礼時に打ち合わせを行っています。	同事業所内の他事業の活動内容や利用児について情報共有することで事業間の連携が取りやすいように工夫しています。
⑱	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日に行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有している。	○		毎日、活動終了後に行っています。	振り返りで上がった事項について記録に残すことで時間がたつてからも振り返ることができるようにしています。
⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	○		日々の支援に関して担当が記録を残しています。	その日のうちに記録が書けず、遅れがちになることもありますが、個別支援計画に沿って次につながるような記録を残すように努力しています。
⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している。	○		半年に1回以上のモニタリングの面談を行っています。	面談結果を参考にしながら担当職員が複数で検討を行っています。
㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している。	○			要請があった場合は児発管や担当者が参加できる様調整しています。
㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている。	○		町の保健師等と連携しながら支援を行っています。	

関係機関や保護者との連携

⑳	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている。	○		リハスタッフを中心に医療機関等と連携しながら支援を行っています。	職員体制や施設のハード面の限界があり、お子さんだけでお預かりすることができない状態。保護者の方のレスパイトを保障できるサービスができるとよいと思います。
㉑	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている。	○			必要な時に連絡を取るようにはしていますが、日常的に連携できる体制はできていません。
㉒	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている。	○		就園のタイミングで情報共有を行っています。	その時だけではなく、事後も相談に乗れるような体制が整えられると良いと思います。
㉓	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている。	○		就学のタイミングで情報共有を行っています。	その時だけではなく、事後も相談に乗れるような体制が整えられると良いと思います。
㉔	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている。	○		県通連や発達障害者支援センター等の研修に参加し事業所内での伝達研修を行いました。	職員体制を工夫しながらできるだけ職員の研修の機会を設けより充実した支援を目指していきたいと思っています。
㉕	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある。	○		地域の公園や遊戯施設に出掛ける等の機会はありましたが、定期的に交流を持つようなことは出来ていませんでした。	定期的に交流を持つような行事を設定しお子さんたちの経験の幅を広げられるよう検討していきたいと思っています。
㉖	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども、子育て会議等へ積極的に参加している。	○			「就学支援委員会」には参加する機会がありますが自立支援協議会には参加していません。
㉗	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている。	○		毎回活動終了後に活動内容やお子さんの状況について直接お伝えする時間をとっています。	個別にお話をする機会が十分に持てなかったり、必要なことを職員間で共有することに不十分な面があり、心掛けていきたいと思っています。
㉘	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に「対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っている。	○		主に土曜日の午後に保護者研修会を行いました。	研修会時にお子さんのお預かりなども実施していますが、参加人数は少ない現状です。保護者の方のニーズに合った研修内容を精査し多くの方に参加していただけるようにしていきます。
㉙	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	○		契約時にご説明させていただいています。	
㉚	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている。	○			直接ご説明して同意を頂くようにしていますが、遅れがちになっています。適切な時期にご説明できるように計画的に進めていきます。

保護者への説明責任等

③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている。	○	半年に1回以上のモニタリングの面談を行っています。	適宜家庭訪問等も実施させていただいています。今後ともご協力をお願い致します。
③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している。	○	保護者交流会の実施はできませんでした。	土曜日の親子療育時等に情報交換等の時間が設定できるよう検討していきます。
③⑥	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している。	○	相談受付の体制を整え、契約時にお伝えしています。	相談や申し入れがあった時には、出来るだけ迅速に対応できるようにしています。必要に応じ、専門家や法人事務局等と連携できるようにしています。
③⑦	定期的に会報等を発行し活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している。	○	「おひさま通信」やHPでお知らせしています。	「おひさま通信」は月1回、HPは月2回程度更新しています。お伝えする内容について深めていけるよう考えていきます。
③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している。	○	名前や写真の掲示等も含め、保護者の方に確認しながら行っています。	十分に留意しています。気になることがあった時に気軽に職員に話しができるような関係づくりに努めていきます。
③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている。	○	視覚的なもので補いながら伝え方の工夫をしています。	
④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている。	○		新型コロナウイルス感染症の影響で実施が難しい状況がありました。状況を鑑みながら今後検討していきたいと思います。
④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している。	○	契約時にご説明させていただいています。施設全体で研修や訓練を実施しています。	新規契約時だけではなく更新時にもご説明できるよう留意していきます。
④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている。	○	施設全体で研修や訓練を実施しています。	様々な場面を想定した訓練が実施できるよう工夫していきます。
④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している。	○	契約時に保護者の方や関係機関から情報提供を受けています。	看護師が不在であり、対応ができないことができてしまいます。法人内等で協力体制を作り対応できるよう検討していきます。
④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている。	○	保護者の方からのご要望によりおやつ等への配慮をしています。	指示書がある場合には確認をする様に情報共有を心掛けていきます。
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している。	○	事故報告書の作成はあるがヒヤリハットについては、作成できていませんでした。	ヒヤリハット事例集を意識して作成し共有することで事故を防いでいけるようにしていきます。

非常時の対応

④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている。	○	年3回、事業所内で研修を実施したほか、外部の研修にも参加しています。	様々な資料を活用しながら画一的な研修になることがないように工夫していきます。
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している。	○	支援会議等で検討し、個別支援計画に記載して保護者の方に了解を得ています。	身体拘束をしなくても済むように、前後の支援の在り方の見直しを日常的に行っています。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果

公表:令和 5 年4月 11 日

事業名:放課後等デイサービスたんぽぽ 保護者等数(児童数)27 回収数 18 割合 67 %

		はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見等を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	15	3			パーティションを使いおやつや勉強のスペース作りを行っています。PT・OTは別室で行っています。
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	12	6		・職員の方のどのような専門か分からない	配置基準に則って配置されています。随時研修等を行い勉強をしています。
	③ 事業所の設備等はスロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	9	8	1		現在対象となる方がいませんが、要請に合わせた作りが必要と思われます。
適切な 支援の 提供	④ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で放課後等デイサービス計画が作成されているか。	17	1			半年に一度モニタリングを行い、保護者の希望に合わせて作成しています。
	⑤ 活動プログラムが固定化しないように工夫されているか	18				いろいろな経験ができるように幅広い活動を心掛けていきます。
	⑥ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	8	7	相手側への説明や納得してもらえない限り難しいと思います	同時間帯でそれぞれの過ごし方があるため、交流は難しいかも知れませんが、どこかで接点が見つければと思います。
保護者 への 説明等	⑦ 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	17	1			更新時だけでなく、ご希望児には説明させていただきます。
	⑧ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	18			毎回、今日の様子を1人1人に話してくれています	主だったことを中心にお話しさせていただいています。お知りになりたいことがある場合はご遠慮なくお申し出ください。
	⑨ 保護者に対して面談や育児に関する助言等の支援が行われているか	18				不安な事等がありましたら、いつでもお声をかけてください。
	⑩ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により保護者同士の連携を支援しているか	12	6		将来に見通しがたらず不安になる時、先輩保護者の話を聞きたいと思う時がある	経験談は何よりの励みになるかも知れません。ご要望がある場合は先輩保護者の方にお声をかけさせていただきますと思います。
	⑪ 子どもや保護者からの苦情について対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	12	6			ご意見箱を設置してありますので、忌憚ないご意見をお願いします。
	⑫ 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	18				お話ししたいこと等がおありでしたら、お声をかけてください。

	⑬	定期的に会報やホームページ等活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか。	17	1			来年度もおひさま通信やホームページで活動の概要や様子をお伝えしていきます。
	⑭	個人情報に十分に注意しているか	18				紙媒体は勿論、口頭等でも十分に注意しています。
非常時の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	14	4			開示ご希望の場合は、お気軽にお声をかけてください。
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	12	6			年2回、消防署に届け出た上で避難訓練を、また月に一度、施設内で避難訓練や防災訓練を実施しています。継続していきます。
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	15	3			楽しいと感じていただけるよう、いろいろ工夫していきます。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	15	3		他事業所では、施設外での活動は「危なくない」と判断されてから連れて行けると言われたが、ここは連れ出してくれて、子ども、親にとってもありがたい場所です	いろいろな経験が大事なので、無理のない範囲で活動をしていきます。

事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和5年4月11日

事業名 放課後等デイサービスたんぽぽ

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		おやつスペースや勉強のスペースを区切っている。OTやPTは別室で実施。	
	② 職員の配置数は適切であるか	○		長休中時間帯を調整している。	
	③ 事業所の設備等についてバリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		建物のハード面で改善の必要あり。
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員参画しているか。	○		全員で意見を出し合い実施、振り返りも適宜行っている。	
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか。	○		希望に沿えるように職員間で話し合いをしている。	確実に改善につなげるようにする。
	⑥ この評価表の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。	○		ホームページやお便り、事業説明会で周知している。	
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善に努めているか。		○	実習生の受け入れを行ったが、評価をいただくには至らなかった。	貴重な意見を聞けるチャンス逃がさない。
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		随時、事例検討等を行っている。	支援方法への活用。
適切な支援の提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		保護者や相談支援、関係機関と連携し、適切なアセスメントができるようにしている。	
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		必要な時に実施する。
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		担当が考えた物を全員で支援会議で検討している。	
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		「遊びを楽しむ」事と「繰り返すことで身に付けられる」事を目標に、活動を2つに分け、同じテーマではあるがアレンジの上行っている。	マンネリ化しないようにする。
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか。	○		静と動のバランスを考えたプログラム、またその季節にしかできないことなどを行っている。	
	⑭ 子どもの状況に応じて個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		対象児童に個別にOTやPT、個別療育を実施。	
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをしその日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		時間を決め行っている。	
	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		時間を決め行っている。	

	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○	情報を共有し、複数の目を通してその日の様子を記録している。	
	⑱	定期的にモニタリングを行ない、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか。	○	半年に一度のモニタリング実施。同時に計画の見直しを行っている。	保護者の意向を汲み取る。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行なっているか	○	飽きの来ない組み合わせを心掛けている。	
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。	○		
	㉑	学校と情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○	保護者から下校予定表をいただき、漏れのないように複数でチェックしている。トラブル時はおひさまへ連絡することになっている。	下校予定表等の連絡がアプリに変更された。PCでも連絡を受け取れるように担当部門へ聞く。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○	対象児童なし。	受け入れるための環境作りができていない。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○	児童発達支援と移行支援会議を実施。	
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○	対象児童なし。	
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○	内部研修や心理士の助言を受けて支援について検証しながら進めている。	
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		同時間帯で、それぞれの過ごし方があり交流につなげるのは難しい。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○	参加の機会がない。	
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況屋課題について共通理解を持っているか	○	お迎え時を利用し情報共有を図っている。	
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○	保護者研修会を実施。	
保護者への	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○	更新時に説明をしている	
	㉑	保護者から子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○	傾聴し必要な助言を行っている。	
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により保護者同士の連携を支援しているか	○	保護者交流会を実施。	
	㉓	子どもや保護者からの苦情について対応の整備をするとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○	苦情受付体制を整えている。	

説明責任等	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行動予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		毎月お便りを発行している。	
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	○		個人のファイルは鍵のかかる保管庫で管理。お迎え時の連絡内容によっては離れた場所で行っている。	
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		必要に応じ、視覚面や聴覚面の配慮をしている。	
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			感染状況を見ながら事業内容の展示やお祭りなどの実施が検討できる。
非常時の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		保護者向けに感染症対応策を玄関ドア等を使い掲示した。	掲示とともに希望に応じ開示する。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		6・12月は消防署へ届け出たうえで全員で実施。1回/月は曜日を変えて実施。	
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		年2回全職員を対象に実施。	
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて組織的に決定し子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得たうえで放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		必要な場合には保護者の承諾を得、個別支援計画書に記載している。	
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて医師の指示所に基づく対応がされているか	○		全員が共有し、おやつ準備時にはひとつずつチェックしている。	
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		専用ファイルに綴じている。	